

宿泊生活の心得

ここは、青少年が体験活動を通して「規律・協同・友愛・奉仕」の精神を学び、豊かな心とたくましい体を育てるための宿泊研修施設です。

- ① すすんであいさつをしましょう。
- ② 生活時間を守り、5分前集合につとめましょう。
- ③ 自分のことは自分で行き、人や自然のためになることは、すすんで実行しましょう。
- ④ 節電・節水につとめ、使った部屋や用具はきちんとかたづけましょう。
- ⑤ みんなが利用する公共施設です。きまりを守り大切に使いましょう。

※感染症の対策

- ① マスクは、各団体の判断で着用しましょう。
- ② こまめに手洗いうがいをしましょう。(食事前後・活動前後・研修室等の入室前・トイレの後)
- ③ 部屋のドアと窓をできるだけ開放し、こまめに換気を行いましょ。

宿泊室では

- ① 部屋に入ったら、避難路を確かめましょう。また、避難をする時は靴をはきましょう。
- ② シーツ類は、受取所に置いてあります。(シーツ2枚、枕カバー1枚が1人分)
最終日は、部屋点検までにシーツ返却場所に各自で返してください。
- ③ 入室整理の時間にシーツをしきましょう。就寝前に毛布をひきましょう。
- ④ 部屋で水分補給をすることはできますが、ベッドの上では飲めません。
- ⑤ ベッドのはしごの、のぼりおりに注意しましょう。
- ⑥ 就寝は22:30、起床は6:30です。就寝後は、不審者対策のために宿泊棟の出入りにカギをかけます。

レストランでは

- ① 食事の前に必ず手を洗い、店内でアルコール消毒をしてください。
- ② 食事はバイキングになっており、おかわりも自由です。
- ③ 料理を取る時は、無言で行いましょう。また、座る時は、奥から座りましょう。
- ④ 食器は返却口に返し、テーブルはふきましょう。
- ⑤ アレルギーのある人は、カウンターに別メニューが出る場合があります。

浴室では

- ① 団体ごとに決められた入浴時間を守りましょう。(最終は22:00)
- ② 日によって男女の浴室(大浴場・中浴場)が入れ替わることがあります。
- ③ 使った用具はきちんとかたづけ、忘れ物をしないように注意しましょう。

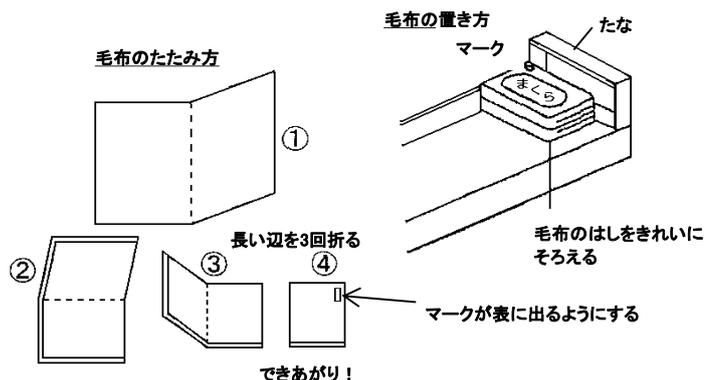
その他

- ① 館内は外履きで行動できますが、宿泊棟の部屋内、体育室、創作工芸館などは土足禁止です。
- ② 保健室は、急ぎのとき以外は引率者(先生)に連絡してから利用しましょう。
- ③ 暖房や冷房は17時30分以降に運転します。それまではスイッチに触らないようにしましょう。
- ④ 談話コーナーは自由に出入りできます。交流の場として利用してください。
- ⑤ 施設内のフィールドアスレチックは無断で利用することはできません。

退所前の宿泊室のかたづけ

※そうじ用具は、各部屋に置いてあります。

- 1 毛布は正しくたたんでありますか。
- 2 部屋をきれいにそうじしましたか。
- 3 ちり箱のゴミは洗面所のちり箱にすてましたか。
- 4 ハンガー(20本)はそろっていますか。
- 5 ドアや窓は開けてありますか。
- 6 忘れ物はありませんか。



※部屋点検の時は、荷物をろう下に出し、自分のベッドの前で職員が来るのを待ちましょう。